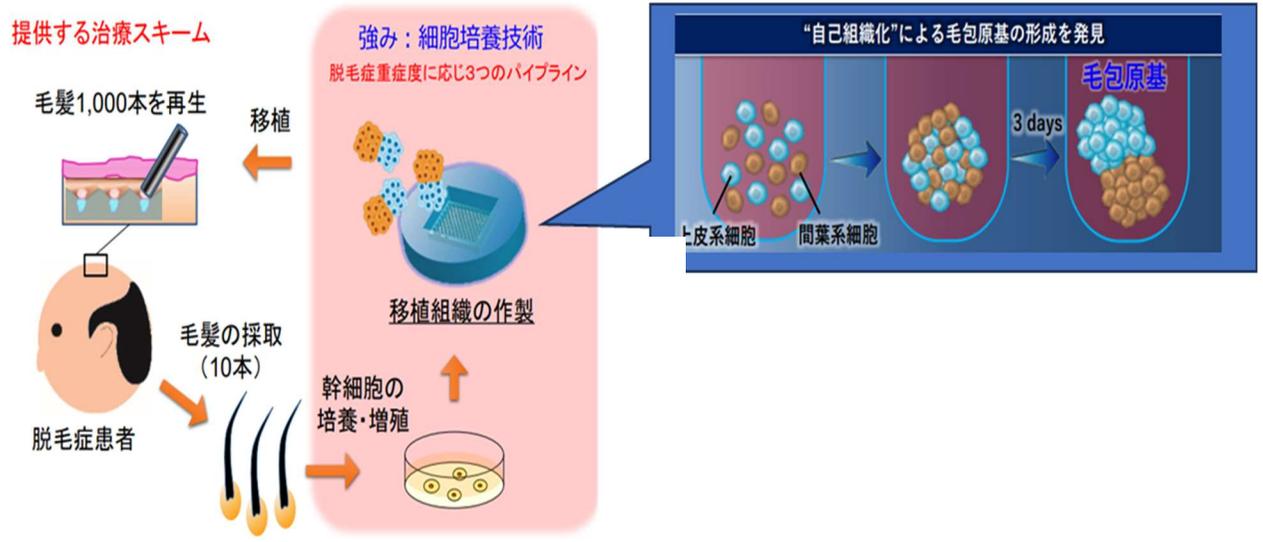
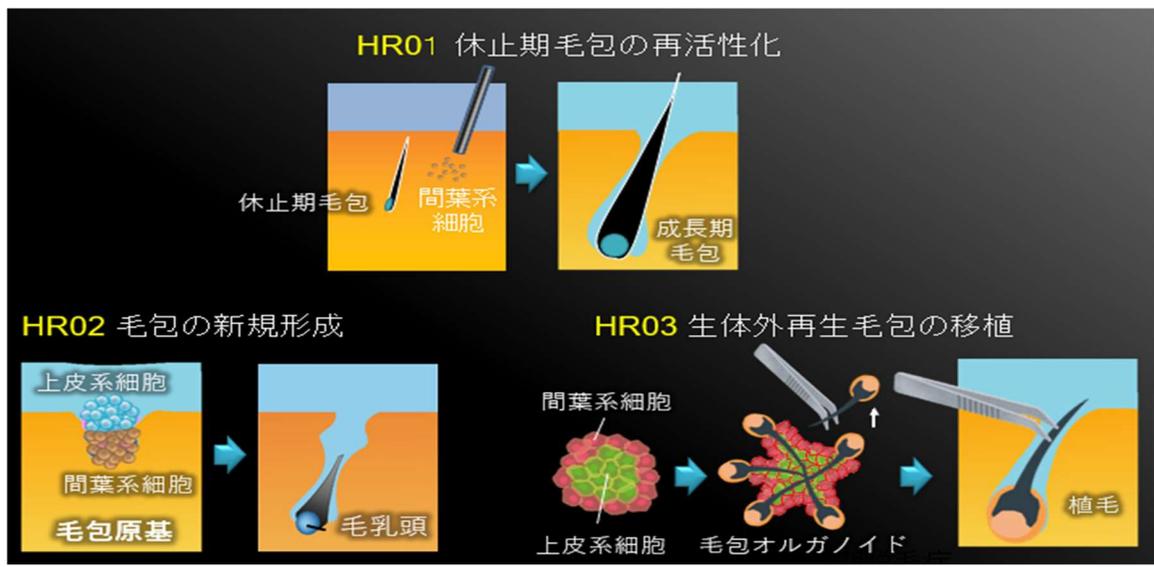


脱毛症治療のための毛髪の再生医療



- ✓ 横浜国立大学・神奈川県産業技術総合研究所 (KISTEC) で培われた細胞培養技術と移植組織作製技術の応用により、上皮系細胞と間葉系細胞が自発的に毛髪を生み出す毛包原基を大量に形成する培養技術を開発。
- ✓ 男性型脱毛症治療に必要な大ロットでの毛髪再生の提供を図るプロジェクト。



- ✓ 3つのパイプラインに用いられているコア技術は、「HR01」:毛乳頭細胞の機能維持、「HR02」:毛包原基の大量調製、「HR03」:生体外での毛髪形成で、全て世界初の画期的な毛髪再生技術。